



2022 年度札幌キャンパス SD・FD 研修会  
「東海大学札幌キャンパス周辺でのヒグマとの共生を考える」



近年、東海大学札幌キャンパス周辺においてヒグマの目撃情報が急増しています。2020年には、南沢地区に頻繁にヒグマが出没し、日中に大学構内でヒグマが目撃される事態となりました。本学学生に、ヒグマとの軋轢を避け、自然豊かな札幌キャンパスでその恩恵を受けながら大学生活を送ってもらうためにはどのようにすれば良いのでしょうか？本SD・FD研修会では、北海道におけるヒグマと人の歴史や、裏山に設置したカメラの撮影データなどをもとに出没個体の数や特徴について説明するのに加え、札幌市のヒグマ対策に最前線であたられている方々を講師にお招きします。「札幌市のヒグマ対策～人とヒグマがすみ分けていくために～」というご講演の中で、日頃からの心がけや、ヒグマ出没時の対応、今後の対策等についてお話いただく予定です。質疑応答の時間も多くとっておりますので、ぜひご参加ください。

日時 : 2023年1月12日(木) 17:20から18:30  
外部講師 : 札幌市環境局環境都市推進部環境対策課環境共生担当課長 濱田敏裕氏  
札幌市環境局環境都市推進部環境共生担当課熊対策調整担当係長 清尾崇氏  
対象者 : 東海大学札幌キャンパス教職員  
場所 : マルチメディアホール  
後援 : 東海大学北海道地域研究センター

なお、本SD・FD研修会は、2022年度東海大学北海道地域研究センター採択課題「東海大学札幌キャンパス周辺の野生動物との共生を考える-大学の森に生息するヒグマとの軋轢を避けるために-」(生物学部生物学科河合久仁子・国際文化学部地域創造学科内山幸子)の一環として行われるものです。